

2018  
11月  
November

# 町内会だより

tamagawagakuen-chounaikai 町田市玉川学園 2-19-5  
**玉川学園町内会** 月曜日～金曜日 10:00～16:00  
※年末年始を除きます

http://tamagawagakuen-chounaikai.net  
Tel/Fax : 042-725-0438 t-chounaikai194@bz03.plala.or.jp

## 年末特別警戒パトロール のお知らせ - 防犯防災部 -

お子様もご参加ください☆  
地区別の予定は次の通りです。



### 第1地区

12月26日(水)18時～19時  
12月28日(金)18時～19時  
▶玉園台児童遊園集合

### 第4地区

12月23日(日)18時～19時  
▶防災倉庫前集合(教会そば)

### 第7地区

12月19日(水)19時～20時  
▶7丁目児童公園集合

### 第2地区

12月26日(水)20時～21時  
▶きらぼし銀行前集合

### 第5地区

12月22日(土)19時～20時  
▶なかよし公園防災倉庫前集合

### 第8地区

12月20日(木)19時～20時  
▶8丁目スタンドパイプ前集合

### 第3地区

12月22日(土)15時～16時  
▶3丁目児童公園集合

### 第6地区

12月22日(土)19時～20時  
▶玉ちゃんバス  
東急台入口バス停付近集合



## 第2回みんなの楽しいコンサートのご案内

第6地区

参加費  
無料  
要申込

お話し・紙芝居と音楽のコラボや日本の四季を  
歌ったメドレーやオペラのアリアなどの演奏が  
楽しめます。

12月15日(土)13:30から  
会場:こすもす会館



「みんなの楽しいコンサート」を開催します。  
今年は、ソプラノ歌手とピアニストの共演で、お話し・紙芝居と音楽のコラボや  
日本の四季を歌ったメドレーやオペラのアリアなどの演奏が楽しめます。  
美味しいお菓子が付いたティータイムの後は、みんなで楽しく歌うコーナーも用意  
されています。このコーナーでは、声楽の専門家から上手に歌うコツも教えてもらえ  
ます。  
今年もビンゴで一足早いクリスマス・プレゼントをゲットしましょう。  
皆様のご来場をお待ちしております。お友達も誘ってみんなで来てくださいね…

※お申込みは※

11月の第6地区町内会回覧などで配布する案内ビラに付属している申し込み用紙に  
記入の上、応募してください。応募要領は案内ビラを参照してください。

## 「ふるさと寄席」が今年も開催されました | 文化部

文化部主催で「第五回ふるさと寄席」が10月7日(日)に  
さくらんぼホールで開催されました。



当日は秋とは言え、汗ばむ陽気の  
中、大勢の皆様にご来場いただき、  
玉川大学出身の噺家さん林家木久蔵  
師匠、古今亭駒治師匠、三遊亭伊織  
さんの落語を楽しみました。駒治さん  
は今年9月に二つ目から真打に昇進し、  
今回「師匠」としての出演となりました。  
伊織さんの「一目上

がり(ひとめあがり)」を皮切りとし、続いてこの日のトリを新真打の駒治師匠に譲った木久蔵師匠が「粗忽長屋(そこつながや)」と「勘定板(かんじょういた)」の二題を演じて仲入り、仲入り後は三人揃っての駒治師匠の真打昇進の口上となりました。ホール全員の三本締めで昇進を祝った後、駒治師匠の新作落語「レモンの涙」が観客を巻き込んだ熱演のもと披露され終演となりました。

終演後に三人から頂いた名入りの手ぬぐいとお馴染み木久蔵ラーメンを景品に抽選会が賑やかに開催され、盛大な拍手の中お開きとなりました。  
皆様のご支援ありがとうございました。

## 東京防災学習セミナーが開催されました | 防犯防災部

10月28日(日)、さくらんぼホールにて東京防災学習セミナーが開催され30名の方が受講されました。

東京防災学習セミナーは大規模災害に備える為の学習と行動を促す目的で開催されています。東京都が各世帯に配付した「東京防災」を教材として用います。今回のセミナーのタイトルは、Bコース「首都直下地震への備え」の入門編「災害から命を守る一人ひとりの備え」です。東京都総務局総合防災部と玉川学園町内会防犯防災部の共催で、NPO 日本防災環境所属の伊藤喜世子さんが講師を務めました。

セミナーでは、首都直下地震を取り上げ、その対処方法について学びました。

首都直下地震とは首都圏で発生が予想される大規模地震の総称で、首都直下地震対策特別措置法で定義されています。首都圏の各地で発生が予想される大規模地震の影響を重ね合わせて被害予想をたてています。玉川学園・東玉川学園地域では震度6弱から6強の揺れを予想しています。東京都地盤地質図によれば当地は丘陵に分類されていて急傾斜地では土砂崩れなどが予想されています。都心に比べ総合危険度のランクは低いもののライフラインは深刻な被害を被ると予想されています。

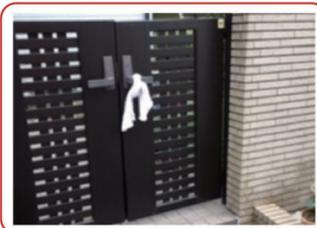
次に過去の事例の説明があり、阪神淡路大震災では家屋の倒壊や家具の転倒や落下が死因の8割を占めています。例えば、挫滅症候群(クラッシュ症候群)は四肢の筋肉などが長時間の圧迫を受けた後に起こる致死率の高い症候で、阪神淡路大震災でも、助け出された後に多くの方が亡くなっています(30Kgの重量で圧迫が3時間続いただけでも挫滅症候群が現われる)。窒息死は死因の5割強を占め胸部などを強く圧迫され続けて死に至ります。これらを防ぐには家屋の耐震化だけではなく、家具などの転倒・移動・落下防止を行わなくてはなりません。また、建物が倒壊すると火災が発生しやすいとの統計データも説明されました。受講者同士の話し合いもあり、避難施設(避難所)と自宅待機(在宅避難)の双方のメリットを話し合いました。更に、1週間分の水・食糧の備蓄や簡易トイレの用意、服用している薬の備蓄など発災後に入手が困難な必需品の備蓄に心がけることなどを学びました。



## 第1・2地区白いタオル運動報告 | 第1・2地区

第1地区 9月23日(日)の総合防災訓練に合わせて昨年同様、白いタオル運動を行いました。

9月1日の防災の日に合わせて参加をお願いするポスターを張り出し、訓練前日までに活動に参加を呼び掛けるビラを会員と非会員のお宅に配り、訓練当日は各支部のあんしん連絡員の協力でタオルの掲出状況を確認してお礼のビラを配布しました。今年は掲出率73%と昨年並みでしたが、非会員の方々の参加が増えました。



支部長さん、班長さん、あんしん世話人と連絡員の皆様、運動に賛同したタオルを出していただいた会員、非会員の皆様ありがとうございました。

第2地区 今回、初めての訓練なので被害が発生した地震を想定して、手近にある白い布やタオルを門口に出すことの意味を理解することから始まりました。

「我が家は無事です」といえば、より救護の必要な人に手を回せます。出すことができなければ、近所の人が確認や救護をしてくれます。

参加戸数の176戸は、町内会会員戸数で45%、地区戸数で30%に相当します。地域のみなでリアルな訓練をする第一歩になりました。また水や食料の循環備蓄、防災器具の使い方なども合わせて実践することが大切と考えます。この訓練に参加いただきました皆様、有難うございました。



